学校番号	3029

令和８年度 学 ＳＳ理数

教科	学 SS理数	科目	(学)サイエンス探究	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

【人が生み出したこと、全てを探究してみよう】
「学問」が確立したギリシア世界では、「この世の物質は何からできているか」を見極めることから探究が始まりましたが、そのような「ピュシス(自然）」に対し、人間の手で作られた道徳や法律などの「ノモス（人為）」も理論的に探究する対象となり、それらの探究を通して、人知を超えた世界や宇宙の秩序に想いを馳せるテオリア（観想）こそ、最高の人間生活だとされました。
　現代の社会でも、科学（サイエンス）は自然科学のみではありません。ギリシア人も気付いていたように、社会科学・人文科学も理論的な科学です。教科学習、毎日の生活、文化やスポーツ活動、あるいは世界に関する報道などから、疑問を見つけ出してください。ものごとの成り立ちや、社会・自然への影響を考え、他の文化との比較をし、またその上での新たな創作ができるかもしれません。　独自の方法・理論で立ち向かい、地理的・物理的に捉えた言葉としての「世界・宇宙」を超えた、文化的・社会的な「世界・宇宙」を切り開いてください。

2　学習の到達目標

各自の設定した課題に基づいて研究を行う。
文理学科の取り組みの中では、これまでに得た知識・技能を十二分に活かし、発表のための総まとめという位置づけになっている。調査・分析・対話・説明の手法を身につけつつ、特に論理的解決能力の育成に重点を置いて、体系的な発表ができる研究能力の養成をめざす。１年間の受講を通して、自主性および独創性を高め、「探究するこころ」を持ちあわせた生徒を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a ：知識・技能	b ：思考・判断・表現	c ：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象とする事象について探究するための必要な知識・技能を身につけている。 理数系等の研究だけでなく、人文社会系等の研究においても、客観的検証ができるように、科学的方法を用いて研究を進め、また、情報分析やデータ処理等において、数学的方法を活用して研究を進めることができる。 課題の探究を通して、知識・技能を論理的に活用する力を身に付けることができている。	対象を多角的複合的に捉え、生徒自身の視点でリサーチクエスチョンを設定して研究計画をたて、課題の解決に向けて研究を進めることができる。 研究を通して得られた情報、調査データ、実験データ等を、科学的もしくは数学的に分析・考察し、論理的に結論を導き出すことができる。 研究成果について、論理的に表現して発表し、また、文章の形として研究報告書をまとめることができる。	研究テーマの魅力・面白さをよく理解し、研究テーマに対する熱意を持っている。 意欲的に研究に取り組み、研究を楽しむことができている。 自己の研究に加え、周りの生徒（LSコースだけでなくSSコースを含め）との研究交流を通して、様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、科学的あるいは数学的に考えて研究を進め、課題の解決に向けて挑戦しようとする姿勢を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、前期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	最終発表	研究の最終目標の設定	(a)　(b)　(c) 第２学年の研究結果と課題が整理され、第３学年における研究の最終目標が設定されている。	◎ 研究活動 研究ノート	○ 研究活動 研究ノート	◎ 研究活動 研究ノート
		研究方法の見直し・再確立	(a)　(b)　(c) 研究の最終目標に向かって、研究方法ｍの見直しが行われ、目標に応じた研究方法が確立できている。	◎ 調査活動 研究ノート	○ 調査活動 研究ノート	◎ 調査活動 研究ノート
		研究結果のまとめ 結果の考察・結論の提示	(a)　(b)　(c) 研究結果について、適切に分析・評価され、整理されている。また資料・データ等が適切に分析・解釈され、論理的に結論が導かれている。	○ 研究活動 研究ノート スライド	◎ 研究活動 研究ノート スライド	◎ 研究活動 研究ノート スライド
		最終発表会の実施	(a)　(b)　(c) 論理的で熱意のある発表であり、聞く者の理解への配慮がなされ、質問の趣旨を理解して応答している。	○ スライド プレゼン 質疑応答	◎ スライド プレゼン 質疑応答	◎ スライド プレゼン 質疑応答
前期期末考査まで	報告書の作成	研究報告書の作成	(a)　(b)　(c) 研究の目的・方法・結果・考察・結論について、論理的に明快な文章で表現され、表・グラフ・図・写真・参考文献・キーワードが適切に配置・掲載されている。	◎ 研究活動 研究ノート 研究報告書	◎ 研究活動 研究ノート 研究報告書	◎ 研究活動 研究ノート 研究報告書

※　表中の観点について　　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

表中の記号について　　◎：特に重視　　○：重視